

東京電力ホールディングスが 23/3 期業績予想を発表—格付に直ちに影響せず

以下は、東京電力ホールディングス株式会社（証券コード：9501）の 23/3 期業績予想の発表についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 23 年 1 月 23 日、当社は 23/3 期業績予想を発表した。経常損益は 5,020 億円の赤字（22/3 期 449 億円）、最終損益は 3,170 億円の赤字（同 56 億円）の計画である。燃料価格の高騰による子会社東京電力エナジーパートナーの業績悪化が主因であり、財務構成も悪化する見込みである。
- (2) 業績の悪化幅は大きいものの、これまで同様、福島復興の責務を国と共に果たしていく構図に変化はなく、当社に対する国の関与は続くと考えられる。また、23/3 期第 2 四半期末の自己資本は 3.2 兆円と厚いほか、24/3 期以降の料金改定による効果や JERA の収益力などを勘案すると、現在の格付を見直す必要性はないと JCR では判断している。
- (3) ただし、福島事業を継続していく上では、上記の改善策だけでは十分とは言えない。第四次総合特別事業計画のポイントの一つともいえる収益力強化は引き続き課題であり、特に柏崎刈羽原発の再稼働が不可欠である。当面は核物質防護事案を含む一連の事案に対する改善措置計画で示された対策、立地自治体等に対する信頼回復に向けた取り組みを加速できるか注視していく。

（担当）殿村 成信・小野 正志

【参考】

発行体：東京電力ホールディングス株式会社

長期発行体格付：A 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル